

## ⑫ 公開特許公報(A) 昭60-145849

⑤ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和60年(1985)8月1日

B 41 F 27/12

6763-2C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 印刷機の版胴に版板を固定するための装置

⑯ 特 願 昭59-261005

⑰ 出 願 昭59(1984)12月12日

優先権主張 ⑱ 1983年12月15日 ⑲ 西ドイツ(DE) ⑳ P3345369.1

㉑ 発 明 者 インゴ・ケーブラー ドイツ連邦共和国アンハウゼン・ツアイジツヒヴェーク  
7㉒ 出 願 人 エム・アー・エヌ・ローランド・ドルツクマ ドイツ連邦共和国オッフエンバツハ・アム・マイン・クリ  
シーネン・アクチエン  
ゲゼルシャフト  
スチアン・プレス・シュトラッセ 6-30

㉓ 代 理 人 弁理士 矢野 敏雄 外1名

## 明 細 書

## 1 発明の名称

印刷機の版胴に版板を固定するための装置

## 2 特許請求の範囲

1. 印刷機の版胴に薄いフレキシブルな版板を固定するための装置であつて、版板のそれぞれの端部を受容するために版胴に配置されて版胴の軸に平行にかつ版胴の外周面に対して傾斜して延びる2つのスリットを有している形式のものにおいて、版胴(1, 20)にみぞ(3, 21)が設けられていて、該みぞ(3, 21)の幅が版板(4)の厚さの2倍を上向つており、みぞ(3, 21)内に条片状の差込体(5, 23)が配置されていて、差込体(5, 23)が版胴の内側に向かう案内部材(6, 24)と仕切壁(9, 25)とから成つていて、案内部材(6, 24)がみぞ(3, 21)の側壁の内側範囲(7, 32)に接触しており、仕切壁(9, 25)の側面(10, 28)がみぞ(3, 21)の側壁の

外側範囲と一緒に両方のスリット(18, 30)を形成していることを特徴とする、印刷機の版胴に版板を固定するための装置。

2. 案内部材(6)がみぞ(3)の側壁の内側範囲(7)と底部(8)とに接層によつて不動に結合されている、特許請求の範囲第1項記載の装置。
3. 仕切壁(9, 25)にピン(13)又はウェーブ(31)の形状の見当合わせ付加部が取付けられていて、該見当合わせ付加部が、版板(4)を張設するときに該版板(4)を側方で見当合わせしながら固定するために版板(4)の前縁部及び(又は)後縁部の切欠き(15)内に係合している、特許請求の範囲第1項又は第2項記載の装置。
4. 差込体(23)が見当合わせ付加部の位置を変えるために版胴(20)の軸に平行に移動可能に支承されている、特許請求の範囲第3項記載の装置。
5. 案内部材(24)の版胴の内側に向かう端

面が歯を有していて、版胴の軸に平行に延びる縦軸線を有しかつ差込体(23)を両方移動させるためのウオーム(27)が前記歯に係合している、特許請求の範囲第4項記載の装置。

### 3 発明の詳細な説明

#### 産業上の利用分野

本発明は印刷機の版胴に薄いフレキシブルな版板を固定するための装置であつて、版板のそれぞれの端部を受容するために版胴に配置されて版胴の軸に平行にかつ版胴の外周面に対して傾斜して延びる2つのスリットを有している形式のものに関する。

#### 従来の技術

ドイツ連邦共和国実用新案登録第1611416号明細書により、複写機の胴に金属薄板を固定するためのこの形式の装置が公知である。この装置は極めて単純な構造を有してはいる。しかしながら、張設しようとする金属薄板の端部を十分に固定させておくためには両方のスリ

ットが著しくわずかな幅を有していなければならない。このようなスリットの製作は切削加工によつて行なわれる。この切削加工のときに、スリットを軸平行に配置しなければならないので、切削作業は極めて高い精度で胴の外周面に対してさらに著しく傾斜されて行なわれなければならない。

しかしながら、新聞印刷機や端物印刷機に用いられるのと同様に比較的広幅の胴に両方の狭幅のスリットをわずかな費用で設けることは不可能である。

#### 発明が解決しようとする問題点

本発明が解決しようとする問題点は冒頭に述べた形式の装置を改良して、比較的広幅の胴を有する印刷機のためにも容易に製作できるようにすることである。

#### 問題点を解決するための手段

前述の問題点を解決する本発明の構成は、版胴にみぞが設けられていて、該みぞの幅が版板の厚さの2倍を上回つており、みぞ内に条片状

の差込体が配置されていて、差込体が版胴の内側に向かう案内部材と仕切壁とから成つていて、案内部材がみぞの側壁の内側範囲に接触しており、仕切壁の側面がみぞの側壁の外側範囲と一緒に両方のスリットを形成していることである。

#### 実施例

第1図に示した実施例において全体として符号1で示した版胴には、該版胴1の外周面2に対して傾斜して延びるみぞ3が切削によつて設けられている。このみぞ3は版胴1の軸に平行に、かつ張設しようとする版板4の幅全体にわたつて延びている。さらに、みぞ3の幅aは版板4の厚さbの2倍を上回っている。版板4の厚さがほぼ0.25mmであるということを前提とする実施例においては、みぞ3の幅a=2mmが選ばれる。

みぞ3内には全体的に符号5で示された条片状の差込体が差込まれている。この差込体5はみぞ3の長さ<sup>い</sup>にわたつて延びている。差込体5

は案内部材6を有し、この案内部材6はみぞ3の側壁の内側範囲7とみぞ3の底部8とに接触しており、ひいては版胴の内側に向かつている。差込体5は、みぞ3のほぼ上端部まで延びている仕切壁9をも有している。仕切壁9を制限している両方の側面10はいずれもみぞ3の側壁の外側範囲11に平行に延びている。従つて、各側面10はみぞ3の両側壁の1つの外側範囲11と一緒に、版板4の各端部が差込案内されるスリット12を1つずつ形成している。

差込体5をみぞ3内に固定するために、差込体5はみぞ3の内側範囲7と底部8とにおいて案内部材6に接合結合されている。しかしながら、この結合は例えばねじのような別の形式によつても行なうことができる。

この実施例においては2つのピン13が仕切壁9を貫通していて該仕切壁9に不動に結合されている。これらのピン13の長さ<sup>い</sup>はみぞ3の幅aよりも小さく寸法決めされているので、ピン13は差込体5と一緒にみぞ3内に差込案内す

ることができる。ピン13は版板4を側方で見当合わせしながら固定するために用いられる。このためには、版板4が前縁部14と接縁部とに、第3図に示したようにピン13の直径に相応する幅cを有する2つの切欠き15を有している。

版胴1が印刷のために選択的に右回り又は左回りに回転できる場合には、みぞ3と同様に構成されたもう1つのみぞ16が設けられている。このみぞ16内には、条片状のもう1つの差込体17が差込まれていて、版板4の各端部を受容するための2つのスリット18が形成されている。

第2図に示した実施例においては、版胴20内にみぞ3に相当するみぞ21が切削によつて設けられている。このみぞ21は版胴内側に向かう端部に、拡大された段部22を有している。さらに、みぞ21には差込体23が取付けられていて、該差込体23が案内部材24と仕切壁25とを有している。案内部材24は内側端

部に歯を有する拡張部26を有していて、この歯にウォーム27が係合している。ウォーム27は略示された形式で版胴20内で回転可能であるが軸方向に移動しないように支承されている。

仕切壁25の側面28はみぞ21の側壁の外側範囲29と一緒に、版板の各端部を受容するためのそれぞれ1つのスリット30を形成している。仕切壁25は2つのウェブ31を保持していて、これらのウェブ31は見当合わせ付加部として用いられて、版板4の切欠き15と協働して版板4の側方の見当合わせされた位置を確保している。

この実施例においては差込体23が、版胴20の軸に平行にみぞ21内で移動可能に案内されている。差込体23をこのように案内するために案内部材24がみぞ21の側壁の内側範囲32に当接している。これによつて、ウォーム27を回転させると差込体23がみぞ21内で版胴20の軸に平行に移動せしめられることが

できる。さらに、この運動にはウェブ31が追従するので、張設しようとする版板の側方の見当合わせの補充調整を行なうこともできる。

#### 発明の効果

公知の装置においては、スリット内に見当合わせ付加部を設けようとする場合に製作技術的にさらに難しさが生じたが、本発明による構成を適用すると、特許請求の範囲第3項に記載した構成によつて前述の形式の見当合わせ付加部を極めて簡単に取付けることができるようになった。さらに、特許請求の範囲第4項に記載した構成を用いることによつて側方の見当合わせを補充調整することが可能である。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例による装置を有する版胴の部分断面図、第2図は本発明の別の実施例による装置を有する版胴の第1図相当の部分断面図、第3図は切欠きを有する版板部分を示した図である。

1…版胴、2…外周面、3…みぞ、4…版板、

5…差込体、6…案内部材、7…内側範囲、8…底部、9…仕切壁、10…側面、11…外側範囲、12…スリット、13…ピン、14…前縁部、15…切欠き、16…みぞ、17…差込体、18…スリット、20…版胴、21…みぞ、22…段部、23…差込体、24…案内部材、25…仕切壁、26…拡張部、27…ウォーム、28…側面、29…外側範囲、30…スリット、31…ウェブ、32…内側範囲、a…幅、b…厚さ、c…幅。

代理人 弁理士 矢野 敏雄

(ほか1名)



Fig.1

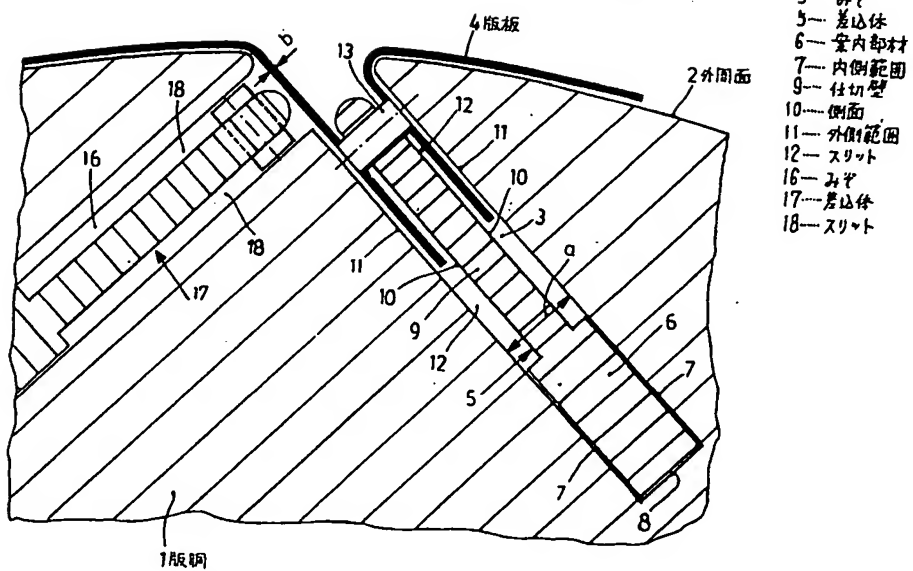


Fig. 2

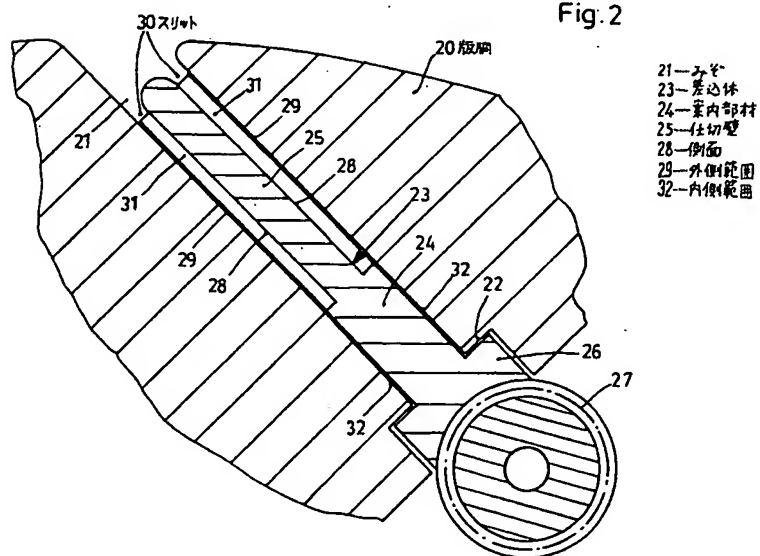


Fig.3

